



シルバー便り 第34号

とよむ

発行

公益社団法人
豊見城市シルバー人材センター

沖縄県豊見城市字平良536番地
電話：098-850-7716
FAX：098-850-7719



オキハム構内広場の和牛オブジェを背に2018年ピクニックの記念撮影

多くの学びもあったピクニック

当シルバー人材センター年中行事の一つになっている「会員等交流ピクニック」は、昨年の十一月三十日(金)に実施され、八十人余の会員らが参加して大型バス二台に分乗し日本銀行那覇支店(那覇市)、牧港火力発電所(浦添市)、沖縄ハム総合食品工場(読谷村)などを見学・研修しながらの楽しい交流ピクニックとなりました。(関連・3面)



安全と幸せ発展を願って 亥年新春もちつき大会

当シルバー人材センターが設立されて以来、恒例となつている地域交流新春もちつき大会は、去る一月十日(木)、この時期としては珍しく好天に恵まれ市立中央公民館前広場で開かれました。

会場には多くの会員らとともに来賓として就任間もない山川仁市長と大城吉徳市議会議長も出席され、市内へいわだいな保育園のちびっ子さんたちも可愛い元気な踊りを披露し、会場の雰囲気も盛り上げてくれました。

にぎわった年始会

もちつき大会の後、



もちつきには幼児たちも参加、山川市長と(中央)

注意喚起のための「適正就業ガイドライン」の研究修会を三十分間もち、いよいよこの日の呼びもの年始会(芸能大会)へと移りました。

ここでは日頃の活動で芸達者になつた会員たちや自慢の個人芸をここぞ

平成三十年度も交通安全功労者多数

平成三十年度も多くの会員が交通安全運動並びに交通事故防止に大きく貢献されたとして、表彰状及び感謝状を受けました。私たちシルバー人材センターとしても交通安全に協力し、積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

「沖縄県交通安全推進協議会会長(沖縄県知事)表彰」

金城 房江さん

とばかり披露してそれぞれ拍手喝采をあびていました。

「九州管区警察局長・九州交通安全協会会長連名表彰」

玉城 登さん

「豊見城市交通安全功労者表彰」

坂田 ミツ子さん

「平成三十年年度豊見城警察署長感謝状」

金井 豊さん



金井 豊さん



坂田 ミツ子さん



玉城 登さん



金城 房江さん

会員拡大に一定の成果

理事長 比嘉 健夫

会員はじめ関係各位の皆様には、平素から当シルバー人材センターの事業運営に對しまして、格

別なご理解とご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

新年度も就業確保を念頭に

ます。

さて、平成三十年年度のシルバー事業は、会員をはじめ行政及び関係機関からの支援並びに指導・助言を仰ぎながら役員

が丸となつて課題等に取組んだ結果、会員の拡大・契約金額・就業延人員等一定の成果を上げることが出来ました。平成三十一年度も、更

新年度も就業確保を念頭に

なる会員の拡大及び就業機会の確保・提供を図り、

会員皆様の生きがいの充実に努めてまいります。また、発注者の信頼・信用に於けるべく安全の確

保及び、適正就業の徹底化を図る一方、ボランティア活動等社会貢献にも引き続き取り組んでまいります。会員の皆様には今後ともご理解とご協力を賜りますようよろしく

お願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の

ますますのご健勝とご活躍並びに当センターの更なる発展を祈念申し上げます。まして挨拶いたします。

入会希望者が出る ほどのパネル展

例年十月に開かれていた当シルバー人材センターの事業普及啓発のため



絵手紙等の作品に見入る参加者ら(パネル展)

のパネル展は、平成三十年年度は、去る十月十五日(月)から五日間、豊見城市役所(旧庁舎)の一階ロビーで開催され、前年より多い二百三十六の人來場者がありました。

会場にはシルバー事業に関する図表や会員らの活動する写真などが参観の目を引き、質問も多く、入会してみたいとの反応も二、三あつて、明るい展望のある展示会となりました。

特殊な経験の多かった 今回の交流ピクニック

日銀那覇支店では説明会場のビデオ室に入る前に身分証明の提示を求められたことにビックリ。天下の日本銀行だけあって「むべなるかな」と納得しました。

ここでは二七札の話が

みんなの興味を引き、本券には二七札では真似の出来ない手法が施されていることのほか、お金に関する多くを学ばせてもらいました。

牧港火力発電所では、

県民が日常生活で恩恵を受けている電気が、発電されるまでのプロセスについて順を追って説明があり、約二十九万世帯に電気を供給しているとのことでした。

この日最後の訪問先は、沖ハム総合食品工場の見学でした。

ソーセージ、ハムづくりをはじめ、黒糖づくりの工場を熱心に見学し、

せて約四十人が参加しました。

講習会では刈払機、チェーンソー、トリマーの適正な取り扱い方法及び操作にあたっての注意点などを実技形式で行いました。

日頃使い慣れた機器ではあるが、一つ操作を誤れば重大事故につながる恐れもあるため、皆さん真剣な表情で講師の話に耳を傾け、充実した講習会となりました。



真剣な眼差しで刈払い機の講習を受ける会員たち

気に入った製品は帰りのお土産購入に余念がありませんでした。

なお、沖ハムの各工場での製品は約一千種にも



1億円の紙幣の重さを確かめる会員ら

シルバーも生涯学習フェスティバルに参加 ゆし豆腐づくり体験

豊見城市生涯学習フェスティバルが二月二十三日(土)〜二十四(日)まで、市立中央公民館を主会場として開催されました。

当センターは、豆腐づくりで女性会員の皆さんが中心になってボランティアに参加し、出来たてのアツアツゆし豆腐を会場の皆さんに振る舞い好

シルバー月間のボランティア大清掃

平成三十二年当シルバー人材センターのボランティア大清掃は、

立中央公園などのゴミ拾い、中央公民館周辺の黒木の剪定など、もくもくと取り組む中、時折り笑い声も聞こえたりで明るい作業現場となりました。この日の参加者は事務局職員らも含めて百十二人でした。



市営陸上競技場周辺の黒木の剪定に余念のない会員ら

平成三十一年度定時総会を五月三十日(木)に豊見城市立中央公民館(中ホール)にて午後一時三十分より開催致します。会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願い致します。

平成三十一年度定時総会の開催日程

評をいただきました。また、豆腐づくり体験コーナーでは、親子連れなどが昔ながらの石臼で豆を挽く手作業に体験したり、豆腐が出来あがる



小さい子供たちもとうふづくりに興味をもち豆をひいている

工程を学習したり、会場では終日市民でにぎわいました。

黄金くとうば

郷土の先達から子や孫へ送る人生のメッセージ

ウシ 生まりジマぬ 言葉
ワシ 忘れぬ 国 忘ゆん

生まれジマの言葉(を)忘れたら、国(を)忘れる。アキサミヨシ、シタイヒヤ。驚いたとき、うれしいとき、思わずとび出す言葉がある。それはたいいてい生まりジマの言葉であり、自分を育ててきたふるさとの表現である。人は親の言葉を通してさまざまなことを学び自然や社会を理解していく。親の言葉はシマ(村落)の言葉であり、そこにはその地で暮らしてきた祖先の心が息づいている。だからシマの言葉を忘れるということは、ふるさとを忘れることであり、自分の祖先や親兄弟を捨てたも同然であるという。



元理事 久手堅 憲珍

「お仕事お引受します」

一般家庭の庭や畑、会社の敷地や空地などの除草、伐採、剪定作業等をお請け致します。又、屋内外清掃、宛名書き、駐車場整理、チラシ配布、その他屋内外の軽作業等もお引受けしますので、センターまで気軽にお問い合わせ下さい。

【作業事例】 作業前



作業後



平成30年度入会者数 (公社)豊見城市シルバー人材センター

Table with 4 columns: 月, 計, 男, 女. Rows for months 4 to 3 and a total row.

生きがいつくいに サークル活動 (下)

サークル活動は、生活に楽しみとうるおいをもたらしてくれると言われています。それは就業やシルバリの行事にも参加し易く、会員の話題作りにもなって、頭脳の活性化にもつながると言われます。頑張りましょう。

ゲラウンドゴルフサークル



発足年月日 平成15年8月
会長 伊計 文雄
会員数 21人
活動日 毎週(土)午前9時〜12時
場所 豊見城市総合公園ゲートボール場
入会金 10000円
会費 月額5000円
ひと言 健康づくりを motto に皆で汗をかき、勝ち負けにこだわらず楽しんでます。年3回はサークル内で大会も開催しています。

タートル倶楽部(パソコンサークル)



発足年月日 平成18年7月
会長 井口 芳道
会員数 10人
活動日 第2,3,4(木)午後5時〜7時
場所 (公社)豊見城市シルバー人材センター
会費 月額5000円
ひと言 日常生活において、パソコンを通じて楽しい心豊かな日々を送れるようにする事を目標としています。

たんぼぼ(絵手紙サークル)



発足年月日 平成22年4月
会長 吉元 清子
会員数 12人
活動日 第2,4(土)午前10時〜12時
場所 (公社)豊見城市シルバー人材センター
会費 月額10000円
ひと言 絵手紙の先生を迎えて、仲間と楽しく作品を作成しています。活動日に見学もできますので是非一度いらしてみてください。

大正琴サークル



発足年月日 平成28年8月
会長 橋本 徹夫
会員数 7人
活動日 毎週(金)午後7時〜9時
場所 (公社)豊見城市シルバー人材センター
会費 月額5000円
ひと言 毎年5月の定時総会と1月の年始会での発表を目指して練習しています。関心のある方はぜひ見学にいらしてください。

編集後記

今回の「とよむ34号」は年度末の三月発行ということもあり、紙面にはそれに関連する内容の記事などもちりばめてあります。もう一つは、従来のピクニック行事では考えてもみなかった日本銀行那覇支店に入室して研修させてもらったこと、沖縄電力の牧港火力発電所のようなハードな部分を直に見聞出来たことだった。こういう普段接することのない世界を見聞出来たことを「シルバー人材センター会員だったから出会えたこと」と喜んでくれる会員もいていい雰囲気をかもしました。(垣)

平成三十一年度年会費の納入について

平成三十一年度の年会費について、正会員費規則に従い、年額二千円の会費の支払いが必要になります。就業している方は支払い配分金より天引きになります。未就業の方は、お早めに事務局へ納入して下さいようお願い致します。